

「平成25年度大分県国民保護図上訓練」を実施しました。

本県では、万が一大きなテロ等が発生した場合に、迅速かつ的確に県民の避難や救助・救護活動等が行えるよう関係機関と連携して国民保護訓練を実施しています。

本県では、平成19年度から国民保護訓練として、図上訓練と実動訓練を実施していますが、県単独での図上訓練は4回目となります。

訓練の概要

1 目的

国民保護法及び大分県国民保護計画に基づき、国民保護図上訓練を実施して、緊急対処事態における初動対処能力の向上、及び関係機関相互の連携強化を図り、次年度予定する国との共同による実動訓練に資する。

併せて、本県の国民保護計画の実効性を検証して有事に備えるとともに、関係職員の危機管理意識の醸成を図り、県の危機管理体制の基盤を確立する。この際、より現実に対応した実践的な訓練を追求する。

2 実施日時

平成25年8月29日（木）13時00分～16時30分

3 場所

県庁新館8階防災センター、災害対策本部会議室、新館81会議室（災害支援室）、新館82会議室（プレスセンター）

4 想定

○緊急対処事態：列車爆破テロ、大規模複合商業施設爆破予告

○大分駅において列車が爆発し多数の死傷者が発生した。その後、大分市内の大規模複合商業施設において爆発物が発見され、同商業施設内の顧客及び従業員並びに近隣の要避難地域内の住民避難を行う。

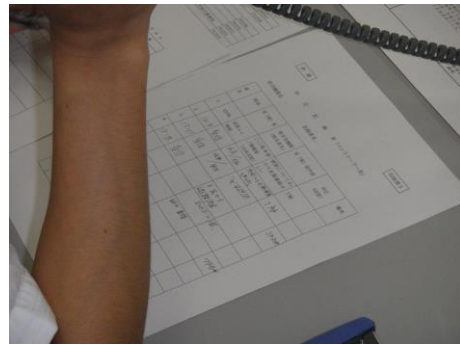
5 参加機関

大分県警察本部警備第二課、機動隊、大分中央警察署、大分東警察署、大分市消防局、大分海上保安部、自衛隊大分地方協力本部、陸上自衛隊第41普通科連隊、大分県、大分市、日本赤十字社大分県支部、大分市連合医師会、一般社団法人大分県バス協会、九州旅客鉄道株式会社大分支社、国土交通省九州運輸局大分運輸支局

国民保護図上訓練の景況



爆発事案発生時の連絡を受け迅速に対応する本部員



訓練進行係が、「対応記録表」にプレイヤーの対応を記録



緊急対処事態対策本部会議における一幕



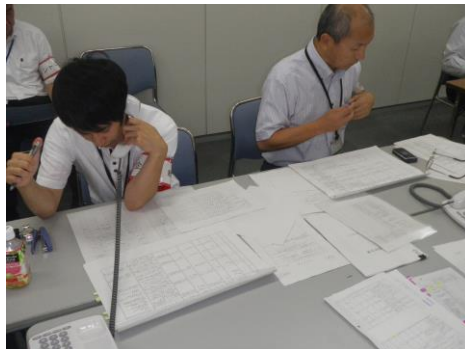
応急対策調整班員と治安対策部員との調整



緊急対処事態対策本部長による「模擬記者会見」の様子



緊急対処事態対策本部会議における対処方針の説明



訓練全般の進行役であるコントローラーが「状況付与計画」に基づきプレイヤーに状況を付与